



書道家
武田双龍



田中陽子

先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉

×



第四十四筆

笑顔

私の中で「口角を上げて悩む」というのがあるんですね。嫌なことっていっぱいあるじゃないですか。その時、眉間に皺を寄せて悩んでいる自分がいたんです。それはいけないなと思って、悩むにしてもとにかく口角を上げる、つまり、笑ってしよう、と。そうすると、意外と今まで大きかった悩みがそれほどでもないように感じられるんですね。まず、笑顔であることを心がける。そうすると、物事はいい方向に進むものなのです

武田双龍

いつも心からの笑顔を。

そうやって日々の生活を送っています。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を読み始め、母・武田双葉に師事。

書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。

テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。

<http://so-ryu.com/>